

たてばやし 5つのゼロ宣言 の進行管理について

令和4年度実績

令和5年度予定



宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

館林市の強靱化とともに、市民の防災意識を高め、自然災害による死者をゼロにする。

宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

再生可能エネルギー資源を最大限に活用することや、日々の生活を見直しエコな暮らしを推進することにより、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする。

宣言3 災害時の停電「ゼロ」

エネルギーの自立・分散化（地産地消）により、災害時にも電力受給を継続する。

宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

まちや水辺のプラスチックごみをなくす。

宣言5 食品ロス「ゼロ」

「MOTTAINAI」（もったいない）の心で食品ロスをなくす。

たてばやし5つのゼロ宣言実現プラン【令和4年度実績】

1 たてばやし5つのゼロ宣言について

（１）概要

世界的な気候変動の影響により、甚大な自然災害が頻発し、気候変動の原因でもある地球温暖化は深刻な問題となっています。また、生態系に深刻な被害をもたらす海洋プラスチック問題、大量の食品廃棄が環境負荷となっている食品ロス問題など、様々な環境問題が発生しています。

群馬県では、これらの課題を2050年までに解決し、災害に強く、持続可能な社会を構築するとともに、県民の幸福度を向上させるため、「ぐんま5つのゼロ宣言」をしました。

本市においても、地球温暖化や気候変動による影響は例外ではなく、群馬県の趣旨に賛同し、令和2年12月に「たてばやし5つのゼロ宣言」をしました。

（２）宣言内容

宣言１ 自然災害による死者「ゼロ」

館林市の強靱化とともに、市民の防災意識を高め、自然災害による死者をゼロにする

宣言２ 温室効果ガス排出量「ゼロ」

再生可能エネルギー資源を最大限に活用することや、日々の生活を見直しエコな暮らしを推進することにより、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする

宣言３ 災害時の停電「ゼロ」

エネルギーの自立・分散化（地産地消）により、災害時にも電力受給を継続する

宣言４ プラスチックごみ「ゼロ」

まちや水辺のプラスチックごみをなくす

宣言５ 食品ロス「ゼロ」

「MOTTAINAI」（もったいない）の心で食品ロスをなくす

2 令和4年度の主な取組内容

（１）宣言ごとの主な取組

宣言１ 自然災害による死者「ゼロ」

※網掛け部分は特筆すべきもの

項 目		主な取組
1	災害への備え	災害発生時に被害拡大の防止と市民生活の早期復旧を目指すことを目的として、市内飲食店と災害時の食料提供に関する内容、館林市社会福祉協議会と被災時のボランティア受け入れに関する内容で、新たに防災協定を締結しました。

2	減災	たてばやし防災情報伝達システムにより、防災情報のほか、市民の暮らしに関することなどを発信しました。また、住宅や建築物の耐震化の促進を図るため、木造住宅耐震改修補助事業など各種補助事業を実施しました。
3	災害発生時	災害発生時のトイレや洗濯などに使用する生活用水の確保のため、「防災協力井戸」として13件登録しました。
4	市民の防災意識	市民の防災意識向上のため、出前講座を実施しました。また、自主防災組織の設立支援および防災訓練の実施支援などを行いました。
5	強靱化推進市民会議の設置・開催	災害から強くしなやかに立ち上がるまちの実現に向け、強靱化に資する施策について話し合うアドバイザリーボードを開催し、市内事業者や学生などと意見交換を行いました。

宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

宣言3 災害時の停電「ゼロ」

項 目		主な取組
1	再生可能エネルギーの導入拡大、エネルギーの有効活用	再生可能エネルギー導入促進のため、蓄電池設備設置補助金を交付しました。また、市民向けの環境イベントでは、自動車メーカーと協働し、電気自動車や次世代自動車を活用した家庭用充放電設備（V2H）の普及啓発を行いました。
2	省エネルギー	地球温暖化対策と燃料費等抑制対策のため、市内ショッピングモール（ウォームシェアスポット）と協働し、ウォームシェアの取組を推進しました。また、地球温暖化対策に関する出前講座を実施しました。
3	交通による温室効果ガス削減	路線バス利用啓発のため、公立高校にてチラシの配付を実施しました。また、路線バスの乗り方教室や出前講座を実施しました。
4	温暖化の影響についての啓発	図書館において、「地球SOS」をテーマに、SDGsなど現代の問題に焦点を当てた図書の展示・貸出および温暖化による生態系への影響についての展示などを実施しました。

5	ごみの減量による温室効果ガス削減	ごみ減量化器具購入者や再生資源の集団回収に対する助成を実施しました。また、ごみゼロ館において、有価不用品をオークション形式で販売しました。
---	------------------	---

宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

項 目		主な取組
1	プラスチックごみ削減	ペットボトルの水平リサイクルの推進に関する協定を締結し、資源循環によるプラスチックごみの削減を推進しています。

宣言5 食品ロス「ゼロ」

項 目		主な取組
1	食品ロスの削減	メディアを活用し、食品ロスの問題について情報発信を行いました。また、食育の推進のため、園児に対し食べ物の大切さを伝え、残さず食べるよう指導しています。

(2) 総評

それぞれの宣言内容に係る施策においては、出前講座や企画展の開催などの啓発事業、補助事業に関する取組が多くありました。たてばやし5つのゼロ宣言の実現には、市民や事業者の理解、協力が不可欠です。令和5年度についても普及啓発や補助金事業の継続した取り組みが必要です。また、令和3年度より、地元ケーブルテレビにおいて、たてばやし5つのゼロ宣言に関する取組を月替わりで紹介しています。令和5年度においても普及啓発の取組として引き続き実施予定です。

一方、設備更新などのハード事業についての取組は少なく、特に再生可能エネルギーの導入については検討が進んでいない現状となっています。たてばやし5つのゼロ宣言の実現に向けては、地域の脱炭素化が必要であるため、再生可能エネルギーの導入、活用促進は重要な課題となっています。

3 令和5年度の新規取組

宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

項 目		主な取組
1	災害への備え	土をテーマにしたパネル展を実施し、地震や大雨による土砂災害への理解を深めるとともに災害への備えについても学べるようにします。

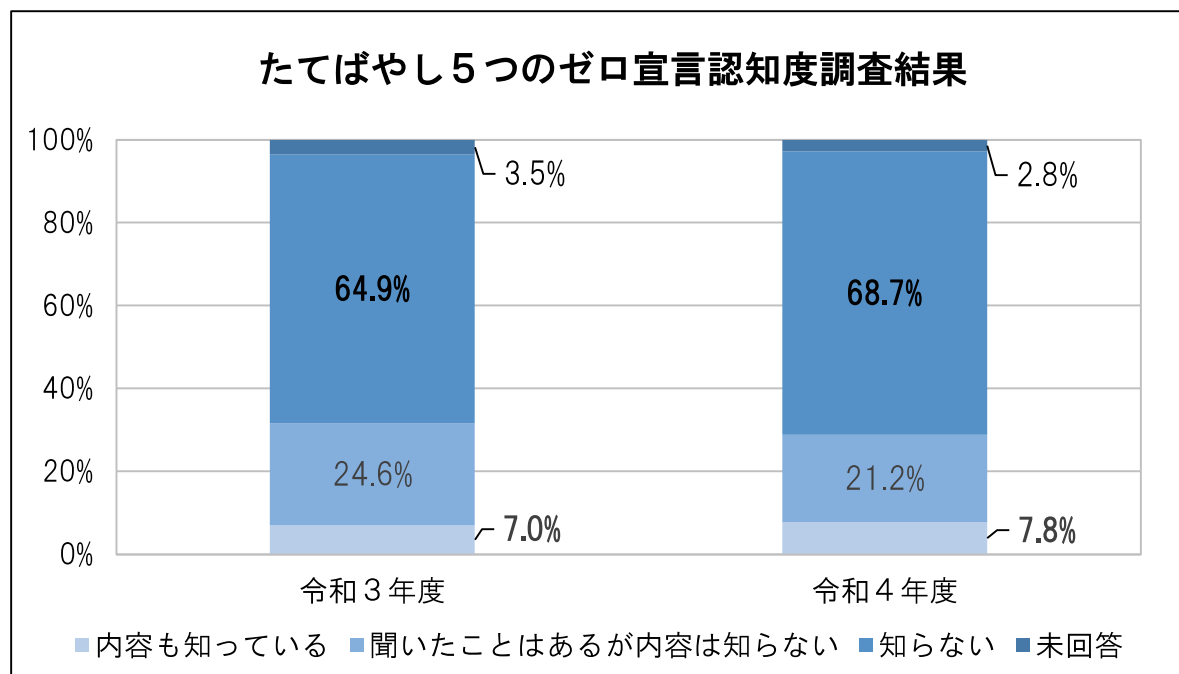
宣言 2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

項 目		主な取組
2	省エネルギー	涼しい場所をシェア（共有）することにより、エアコンの使用量を減らすとともに暑さ対策や燃料費等抑制にも寄与する、クールシェアの取組を推進します。
3	交通による温室効果ガス削減	カーボンニュートラル推進のため、公共路線バス運行車両における電気バスの導入を推進します。
5	ごみの減量による温室効果ガス削減	給食調理時に発生する野菜くずなどや学校から返却される食べ残しを飼料として、リサイクル化を行います。

4 たてばやし5つのゼロ宣言の認知度

たてばやし5つのゼロ宣言の認知度を図るため、市民向けにアンケート調査を実施しています。調査結果は以下のとおりです。

たてばやし5つのゼロ宣言の内容も知っている人は1割未満にとどまっています。一方、知らない市民は6割以上を占めているため、引き続きメディア等を活用した啓発を進めるとともに、より効果的な啓発活動についても模索していく必要があります。



出典：市民・事業者アンケート結果より
（第三次館林市環境基本計画進行管理）